

# 携帯電話・インターネットに潜む危険

## ～ その仕組みを知ることで防げる被害～



滋賀県イメージキャラクター  
キャフイー

執筆者

N I T 情報技術推進ネットワーク代表  
篠原 嘉一

滋 賀 県

# 目次

はじめに .....	1
1 . インターネットと携帯電話の発展 .....	1
2 . インターネットの特性と盲点 .....	2
3 . どうして携帯電話が危険だと言われるのか .....	4
4 . ネット被害はどうして子どもが多いのか .....	4
5 . 大人の被害も子どもの書き込みから .....	4
6 . 情報収集結果を転売する名簿業者の存在 .....	5
7 . インターネットに接続できる機器 .....	5
8 . ターゲットを絞り込む犯罪者 .....	5
9 . ネット被害のきっかけ .....	6
10 . トラブルの多い携帯サイト（携帯電話専用サイト）の存在 .....	11
11 . 無料ゲームなど無料サイトの収入源とは .....	11
12 . 深刻化するサイト被害 .....	11
13 . フィルタリング（有害サイトへのアクセス制限）の現状 .....	12
14 . 被害の低年齢化が心配されるポータブルゲーム機 .....	12
15 . 携帯電話の通信料金トラブル .....	13
16 . 新たな被害を生む新種のウイルス感染 .....	13
17 . 被害に陥る被害者の特徴と「生きる力」のはぐくみ方 .....	14
相談事例 .....	15
終わりに .....	17
用語解説 .....	18

## \*はじめに

インターネットの世界は日々変化し、目に見えないところで個人情報とびかっています。インターネット（以下「ネット」）や携帯電話の特性を知り、悪質な業者や不審者の仕掛ける罠の存在を知ることによって深刻な被害を回避することができます。

「機械モノはわからないから...」「地方にはそんな被害はないはず...」という考えが、被害の仕組みをはびこらせている原因です。

ここでは、ウイルスソフト（コンピュータに被害を及ぼす不正プログラム）による被害の解説ではなく、悪質なサイトから被害に巻き込まれていくインターネット環境の現状と、そこへ導かれていく仕組みについて紹介していきます。

## 1. インターネットと携帯電話の発展

ここ数年、一般家庭でもほとんどのエリアでインターネット回線が利用できるようなインフラが整備されてきました。また、ワイヤレス（Wi-Fi ワイファイ）でインターネットに接続できる「ワイヤレススポット」もファストフード店や駅の待合室などに設置され、どこにいてもインターネットが利用できるようになりました。

また、携帯電話はすべての機種がインターネットに対応しています。携帯電話で通話できるエリアであればインターネットが利用でき、GPSで位置情報や航空写真地図につながり、建物の詳細まで把握できるような環境まで整っています。

ネットの普及で便利な環境が人々の生活様式も変えてきました。郵便で送っていた書類は、ネットを利用することで一瞬にして相手に届きます。この変化を「便利!」と感じる世代に対し、すでにあるネットの環境の中で生まれ育った世代には「便利」と「不便」の違いが想像できないのです。リアルタイムに連絡を取り合える環境は、友だちと待ち合わせをする時も、時間も場所も事前に決めるという意識すらなくしています。

この意識の違いが、見えないネットの世界に悪質な仕組みを作っても、問題として取り沙汰されてこなかったという背景があるのです。

ネット被害を理解するには、まず、利用者の生まれ育った環境の違いを理解する必要があり、被害者の多くは被害意識すらないような世代と、仕組みが理解できず被害に巻き込まれる世代に大きく分ける事ができます。

また、携帯電話は日本独自の進化を遂げ、世界標準から大きくかけ離れています。日本の携帯電話は、**携帯メール**、**ネット**、**携帯アプリ**、**GPS**、**ワンセグ**、**ミュージックプレイヤー**、**カメラ機能**、**テレビ電話機能**、**おサイフケータイ**などの最先端機能を搭載し、その機能を利用するためのサービスも日本独自に用意されてきました。ところが国際市場ではそのような機能は望まれていないため、ほとんどの機能が日本向けに進化しました。そのため、日本独自のサイト被害が生まれている原因にもなっています。

## 2. インターネットの特性と盲点

### 広告配信サーバー（アドサーバー）の存在と検索履歴の漏えい

検索履歴の漏えいという悪意がありそうに思われそうですが、もともとネットでは、情報をコンピュータや携帯電話の画面に表示させるウェブブラウザ（インターネット閲覧ソフト）のレイアウトの一部に広告を表示させるスペースも設けています。利用者は得たい情報を「検索」という手段で探し出し、検索をした履歴は配信元に履歴として戻ります。この検索履歴から利用者の趣味趣向に応じた広告が広告専用のアドサーバから配信され、ウェブブラウザの広告スペースに随時差し替えた広告が届くように作られています。

自宅のテレビでは、ご近所の方は皆さん同じコマーシャルを見ています。新聞広告は同じ新聞社であればご近所も同じ広告です。もちろん折り込みチラシも同じものが入っていることでしょう。しかし、ネットでは利用者それぞれに違う広告を届ける事ができます。この機能を利用して、事業者が利用者の年代、性別、趣味、趣向に合わせたホームページ広告や広告メールを届けてくるのです。同様に悪意のある事業者もこの機能を利用して、迷惑メールや罠のあるサイトに導きます。

例えば、自宅のパソコンのトップページにある広告を確認してください。成人男性が使用するパソコンであれば、その条件に合った自動車メーカーなどの広告を多く目にされる

でしょう。ネットショッピングを何度も利用されている女性なら、通販のファッションサイトの広告が何度かに一度は表示されています。

子どもたちが、被害に遭いやすいのは、この検索条件が、“無料音楽サイト”など「無料」の条件を付けて検索するため、裏サイトなどの違法なサイトがより多く表示されているためです。

(パソコン上の広告例) 矢印部分の広告はアドサーバから送られてくる。

WEB 画像 動画 ニュース ブログ 商品 辞書 地図

A〇〇〇X JAPAN

検索

会員向けサービス  
メール  
セキュリティ  
会員サポート  
登録情報の変更

注目ニュース  
〇〇法改正の再提出見送り  
夏の甲子園、〇〇高校が1回戦突破  
列島を襲う猛暑  
円高加速、どうなる日本経済  
高速道路渋滞予測、過去最長の地点も  
お笑い芸人〇△と女優△◎が真剣交際

〇〇自動車  
ラグジュアリーな空間  
大人の走りをあなたに

広告スペース

メール  
セカンドメール  
滋賀県のお天気  
晴れ 32℃/24℃  
今日の運勢 天秤座 8月1日  
関西の鉄道情報 8月1日  
8時30分現在 通常運行

話題のオークション  
夏物福袋 新型パソコン  
地デジ対応テレビ

花火大会特集  
日程、規模をチェック  
して浴衣で出掛けよう!!

ニュース  
スポーツ  
天気  
ファイナンス  
テレビ  
地図  
路線  
占い  
恋愛、結婚  
服、ビューティー  
旅行・ホテル  
掲示板  
ブログ  
出会い

(携帯電話上での広告例)

ケータイゲームCity

無料会員登録はこちら  
無料占いサイト

検索

\*マイページ \*友達紹介

\*アクションゲーム  
\*アーケードゲーム  
\*ロールプレイングゲーム  
\*カジノゲーム

\*ニュース \*お知らせ

広告スペース

### 3．どうして携帯電話が危険だと言われるのか

ネット被害の中でも携帯電話を経由した被害が多いのはなぜでしょう。それは、携帯電話には独自の機能がたくさん組み込まれているからです。

その代表的な機能が、“ 個体識別番号 ” の通知機能です。携帯電話にはそれぞれ個体識別番号があり、通信の際に “ どの携帯電話からアクセスされたか ” をサイト運営者は知ることができます。サイト運営者はこの取得したデータから、「いつも同じ携帯電話からアクセスがあった」ことが確認できます。携帯電話はパソコンと違い、いつも個人専用として利用されている事が多く、サイト運営者側は、同じ人が何度サイトに来たかを確認していません。携帯電話は常時持ち歩くことを前提にされていますので、この“ 何度も来てくれる人 ” に広告を送ると、ピンポイントでポケットの中に広告を届けることが可能になります。

また、アクセスの履歴から、趣味趣向がわかりますので、その人に応じた広告を配信でき、より利益を生みやすいのです。問題のない企業の広告なら良いのですが、悪意のある広告もポケットにねじ込んでくるような状況なのです。

### 4．ネット被害はどうして子どもが多いのか

ネットの利用には時間の制限がありません。テレビのように深夜は放送していないなどという事はなく、24時間利用できます。特に携帯電話でのネット利用の割合は子どもが大変多く、昼夜を問わず利用していますので、子どもの興味を惹くサイトを運営すれば、より多くの広告収入を得ることができるのです。

高齢者向けの「俳句サイト」などもあり、今後は、より幅広い年齢層が対象になってくるでしょう。

### 5．大人の被害も子どもの書き込みから

子どもがネット上の掲示板などで、やり取りしている書き込みから、家庭環境を探るようなやり取りが見受けられます。家族構成や別居している祖父母のことなどを話題として悪意のある者が話しかけてきます。もちろん怪しまれないように、悪意のある者は子どもに扮しています。このやり取りから両親の職業を聞き出したり、遠く離れた一人暮らしの祖父母の存在を聞き出したりするのです。そしてその情報が、振り込め詐欺グループへと

転売された場合には、振り込め詐欺のターゲットとして狙われてしまうのです。

## 6．情報収集結果を転売する名簿業者の存在

あらゆるサイトから得た情報を整理して、個人情報をご業者に転売する悪質な名簿業者が存在します。悪意のある名簿業者の場合は、データベース化し、収集した個人情報をアダルトサイト運営業者などに流して利益を得ています。

また、悪意のある名簿業者から個人的に得た情報を元に脅しや恐喝の材料にすることもあります。サイトへのアクセス履歴や登録された会員情報は漏れる可能性があり、出会い系サイトやアダルトサイトへの会員登録情報が漏れ、脅迫被害に遭った例も見受けられません。

## 7．インターネットに接続できる機器

ここ数年で、多様な機器がインターネットに対応するようになってきました。携帯電話はその代表ですが、その他にも下記のような機器がインターネットにつながり、被害が発生する場合があります。

- ・パソコン
- ・ポータブルゲーム機
- ・家庭用ゲーム機
- ・地上デジタル対応テレビ
- ・ネット対応型電子辞書
- ・携帯型音楽プレーヤー



特に最近ではネットにつながるポータブルゲーム機の普及で、被害者予備軍が低年齢化してきました。地デジ完全移行により、テレビが地上デジタル化されたことで、テレビのネット接続が普及すれば、より多くの情報がネット上を行き来することでしょう。テレビの視聴履歴により、コマーシャルも家庭別に放送されるようになるかも知れません。

## 8．ターゲットを絞り込む犯罪者

ネット上にある書き込み（ブログ・掲示板）などから、犯罪者は何を得ているのでしょ

うか。

それは、教育に熱心な家庭・生活に余裕のある家庭・プライド高い家庭かどうかです。被害にあっても決して他人に相談しないような家庭を探しているのです。

利用者の書き込み内容からターゲットを絞り込みやすいため、悪意のある者が、ターゲットを見つける方法としてネットは適しているのです。子どもの書き込みは、リアルタイムな生活環境がわかり、罠を仕掛け易いのです。

## 9 . ネット被害のきっかけ

ネットで被害を受ける原因はどこにあるのでしょうか。ネットには様々なサービスがあり、利用者はそれぞれ目的に応じたサービスにアクセスします。そのサービスを提供しているサイトに被害のきっかけが潜んでいます。その代表的なサイトを挙げてみましょう。

### 占いサイト

占いサイトは、インターネット上で人気が高いようです。“占い”ですから架空の姓名や生年月日では当たる占いも当たりません。利用者は当然、本名で詳細な情報を記入します。この数ある占いサイトの中に情報収集が目的の占いサイトが存在します。特にその利用者が他のサイトで記入した個人情報と占いサイトで登録した個人情報にズレがなければ、正確な個人情報として転売されています。占いサイトから届くメールを受け取るためのメールアドレス登録も“生きた(実在する)”メールアドレスとして名簿とともに貴重な情報になっています。

ネットで宣伝メールを配信したい業者は、この生きた(実在する)メールアドレスが欲しいのです。

携帯電話の場合は、**公式サイト**なら概ね安心ですが、公式サイトでも会員登録後に登録業者以外から広告メールが届く場合がありますので、規約を確認し、詳細な個人情報の記入には注意が必要です。

### 架空請求画面

パソコンの場合、サイトを次々と見ていると裏サイトと呼ばれる怪しいサイトに迷い込むことがあります。ここでも、過去の検索履歴から悪意のあるサイトにつながる危険性が

高まっているのです。画面をクリックしていくと、「会員登録ありがとうございました」という表示に続き、代金の振り込みを要求する画面が現れます。イタズラ目的のものもあれば、請求画面を表示した状態でパソコンを動かさないようにしてし、その間にパソコン内部のデータをネット上に流出させてしまうウイルスを仕込むものなど様々なタイプがあります。回収したデータは転売されたり、脅迫の材料にされたりしてしまうのです。

架空請求と思われる画面が現れた場合は、まず、パソコンに接続されているネット回線ケーブルを外し、パソコンとネット回線を切り離しましょう。パソコンがフリーズ状態(無反応状態)になっている場合は、ハードウェアの修復などの作業が必要になります。

### 架空請求メール

検索履歴や利用サイトの情報が第三者に漏れ、サイト運営者と無関係な第三者から利用料の請求や解約手続き費用などの名目で代金を要求してくることがあります。特に裏サイトや不法な内容へのアクセス履歴が漏れた場合、脅迫のような内容のメールが届く場合があります。

要求に応える必要はありませんが、自分の利用しているサイトの状況を常に把握しておく必要はあります。不用意な会員登録をし、どんなサイトを利用したかの記憶がないため、脅迫に応じて振り込んでしまい、何度も利用料などを請求される事例が後を絶ちません。

### チェーンメール

多くは携帯電話での事例ですが、「届いたメールを友だち5名に転送しなければ不幸になる」「転送しなければ 組員が自宅に行く」などと不安をあおるような長文のメールが送られてきます。“不幸の手紙”などと呼ばれ、メールを転送させるイタズラが目的のもの、転送させることで複数のメールアドレスを入手することが目的のもの、ウイルスをばらまくことが目的のものがあります。

小学生あてに配信されることが多く、不安になった子どもが、外出できなくなるなどの被害も出ています。携帯電話の解約や買い換えをされる保護者も多いようですが、ほとんどの場合、買い替えなどの必要はありません。届いたメールは削除するようにしましょう。ウイルスに感染させることを目的としているものは、添付ファイルがついた状態で送信さ

れてきますので、添付ファイルも開かないようにしましょう。

添付データからウイルスに感染した携帯電話は、フリーズ（無反応状態）する 경우가多く、携帯電話内部のメモリ領域がオーバーした状態になってしまいます。強制リセット機能が作動する場合は、利用者で対応できますが、まったく無反応な状態であれば携帯電話のサービス窓口を持ち込む必要があります。ウイルスは日々進化しています。ウイルス感染に備え、電話帳などの大切な情報は別の場所に保存しておきましょう。パソコンに保存する方法や、データを預かるサービスサイトでバックアップしておく方法があります。

### **フィッシング詐欺**

会員登録して利用しているサイトの運営者を名乗り、個人情報やID・パスワードを聞き出そうとするメールを送りつけ、偽のホームページに誘導させる仕組みです。IDなどの他に、銀行口座やクレジットカードの情報を搾取する場合があります。

### **SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）**

インターネット上で会員同士が意見交換をしたり、コミュニケーションをとったりすることが目的のサイトです。同じ趣味などを持った複数の人と知り合えるため人気があり、利用者も増え続けています。中高年向けのSNSも増え、利用率も急増しています。

しかし中には、身分を偽って情報を聞き出す目的や犯罪目的で接してくる不審者も存在しており、一般の利用者との見分けが大変難しい現状です。不審者は大変長期間にわたり、“いい人”を装って連絡をしてきますので、利用期間に関わらず、詳細な情報を相手に伝えることは避けましょう。SNSがきっかけとなった性犯罪も発生しています。

### **ネットワークゲーム・ソーシャルゲーム**

インターネット上で利用するゲームサイトです。無料ゲームサイトとして、頻繁に宣伝されているものもあります。チームを組んで遊ぶタイプのゲームは、会員同士がコミュニケーションを取りながらゲームを進めますので、会員同士が親しくなることもあるようです。その結果、子どもが大人の会員に呼び出され、何の疑いも持たない子どもがそれに応じて会ってしまうという事例も発生しています。

ソーシャルゲームサイトと呼ばれるサービスでは、従来のネットワークゲーム以上にコミュニケーションに特化したサービスが組み込まれ、ゲームをしていない時でも会員同士で連絡を取ることができます。サイト運営者は、ゲームサイト利用者がゲームをしていない時でも利用者をゲームサイトに留ませ広告を表示させる（見せる）ことができます。

しかし、常時ゲームサイトに留まるということは、子どもたちがインターネット上で知らない大人と話し込んでしまう時間が長くなり、やがて呼び出しや誘い出しに応じてしまう危険性が増えるということです。

### プロフィールサイト

「プロフ」と呼ばれ、ネット上に自分のプロフィールを書き込むサイトです。写真や住所、氏名などの個人情報を書き込むよう、数十個の項目が設けられているため、子どもたちはすべての情報を書き込んでしまいがちです。

友だち同士で見ている感覚でいますが、誰でも検索して探ることができるため、不審者も見ています。書き込まれたデータを悪意のある事業者や不審者がコピーしてデータベース化し、数年にわたり記録を保存し続けます。そして、このデータを名簿業者に転売し、利益を上げているのです。

プロフに掲示する写真も悪用されることが多く、子どもたちが被害に巻き込まれるきっかけになっています。



### 携帯電話用ブログサイト

誰でも簡単に作ることができる携帯電話用のホームページです。日常の出来事を記入することが多く、子どもたちのリアルタイムな行動や写真などが掲載されているため、不審者に狙われる原因にもなっています。

### 懸賞応募サイト

企業などのサイトでも懸賞項目を設け、顧客のリサーチに利用されていますが、悪意のあるサイトでは、大手企業の偽サイトであったり、応募した人の個人情報を利用することだけを目的としたサイトであったりするなど、様々な手口で個人情報を引き出そうとしています。例えば、賞品の発送先住所を記入させる手口で、住所や氏名などの個人情報を入手する手口があります。

また、応募された個人情報は懸賞サイトに興味のある顧客としてデータベース化され、幸運グッズや開運関連商品の販売情報を配信する事業者などへと転売されます。

### **モデル募集サイト**

読者モデルのように、ホームページ上でモデルを募集するふりをして、応募者のメールアドレスなどの個人情報や写真を入手しているサイトがあります。中には、オーディションと称して呼び出し、マルチ商法の勧誘をしたり、風俗店への斡旋などに悪用しているものもあります。

### **出会い系サイト**

インターネット上で、男女それぞれが交際情報を交換できるサイトです。会員登録が必要で有料サイトと無料サイトがありますが、どちらも利用を始めると利用を続けるためのポイントの購入が必要になります。

出会い系サイトを利用する年代が広がり、中高年の利用者も増えているため、被害者の年齢層も広がっています。問題のあるサイトは、「出会えない」出会い系サイトと、「出会える」出会い系サイトに大きく分けられます。「出会えない」サイトでは、利用者に利用料のポイントを消費させることが目的ですので、異性とメール交換をするたびに費用が発生するようになっています。

「出会える」サイトでは運営者は利用料のみの収入ですが、お金目的の援助交際や売春につながるものもあり、より深刻な問題に発展するのも特徴です。この「出会える」サイトの中には、組織的に仕組まれた「出会わせる」グループも存在し、利用者の社会的地位を利用した脅迫被害につながるおそれもあります。

## 10．トラブルの多い携帯サイト（携帯電話専用サイト）の存在

これまで述べた危険が潜んでいるサイトの多くが、携帯電話でしかアクセスできない、携帯電話専用サイトの中に存在しています。パソコンでアクセスすると、アクセスを拒否されたり、問題のないページだけを表示させたりと、あくまで携帯電話からのアクセスに限る仕組みを設けています。このことが被害を発覚させない状況を作り、被害を深刻化させている原因です。携帯電話専用サイトの運営業者は、個体識別番号で管理した会員にピンポイントで広告を配信出来る仕組みを使って、広告主から良い条件で広告収入を得ていますが、この仕組みを悪意のある事業者が利用すると被害は深刻かつ水面下に隠れるようになっているのです。

## 11．無料ゲームなど無料サイトの収入源とは

テレビCMも頻繁に行われている無料ゲームサイト。この無料ゲームサイトの収入源のひとつに、広告収入があります。サイトの画面の一部に表示される広告を利用者がクリックすることで、サイト運営者は収入を得ることができます。また、ゲームを攻略するために必要なアイテム（ゲームを進める上で使用する武器など）なども、ポイントと引き換えになっているため、アイテムを手に入れるにはポイントを購入するか、広告をクリックし、広告ページの会員登録をするなどして、ポイントをもらわなければゲームを進めることができない仕組みになっています。そのため、広告をより多く表示させ、広告主のサイトの無料会員登録数を増やす仕組みを設けています。

ゲームを進める度、広告を見てもらえるため、広告主は無料ゲームサイトに多くの広告を出しています。この中に、悪意のある事業者が含まれていないとは限りません。

無料ゲームサイトの他に、無料音楽サイトや無料掲示板、無料アルバイトサイトなど、情報収集を狙っているサイトがインターネット上には多数存在しています。

## 12．深刻化するサイト被害

ひとつのサイトがあらゆるサイトとつながっているため、ネット被害の多くは、ひとつの項目にだけ注意していても回避できません。例えば、プロフィールサイトで個人情報を書き込まないようにして利用していたとしても、リンクしているブログサイトの日記から

居場所を特定され、プロフィールの写真によって本人が確認されてしまうということもあります。

被害が発生したという報道が流れると、悪意のあるサイトの運営者は、即座に仕組みを修正し、新たな罠を仕掛けます。その開発速度や技術力は高く、ネット被害が表面化されにくい理由のひとつにもなっています。

従来の金銭的被害に加え、性犯罪や薬物犯罪、命に関わる被害もあるなど、より被害が深刻化しています。今後は、国内のポータルサイト運営会社と海外の検索エンジン運営会社が提携することなどに便乗し、海外からの罠も増えてくるかもしれません。

### 13．フィルタリング（有害サイトへのアクセス制限）の現状

有害サイトから利用者を守る機能として、フィルタリング機能があります。主に子どもたちを対象に、悪意のあるサイトへのアクセスを遮断する仕組みです。

「滋賀県青少年の健全育成に関する条例」では、青少年のインターネットの利用の制限について定めています。（第20条の2）

本来、フィルタリング機能が正常に機能していれば、悪意のあるサイトへはアクセスできないはずなのですが、現実には被害が発生しています。

パソコンでのフィルタリングは、それぞれ利用するパソコンの設定項目で、有害サイトや暴力的な表現を遮断するような設定項目が設けられていますが、各自で設定することになっており、家庭によっては家族と共用で使用するため未設定であったり、子どもが意図的に設定を解除してしまったりする場合があります。

フィルタリングの審査をパスした多くのサイトでも、悪意のある者が紛れ込んでいて罠を仕掛けているのです。機械的なフィルタリング機能に頼らず、心のフィルタリング機能を磨く必要があります。

### 14．被害の低年齢化が心配されるポータブルゲーム機

最近ゲームサイトでの被害には、ポータブルゲーム機によるものも発生しています。子どもたちは、小型のポータブルゲーム機でネットに接続し、ゲームをしています。ゲームの相手とのやり取りをしているうちに相手と親しくなり、誘い出しに応じてしまう被害

が発生しています。ネットを利用する時間が増えた子どもは、ネットの向こうにいる出会ったことのない相手に、日々の出来事や悩みを相談するようになります。やがて会ってみたいという気持ちが芽生えると、家出や連れ出しへと発展している例も見受けられます。悪意のある者が、ポータブルゲーム機で意図的に子どもとゲームをしているのです。ゲーム機を取り上げられたくないという思いから、子どもは被害にあったことを話さず、被害が深刻になってしまう場合もあります。

### 15．携帯電話の通信料金トラブル

携帯電話はパケット通信という転送方法をデータのやりとりに利用しています。パケットはデータを小荷物のように小分けしてパッケージとして送ります。最近の携帯電話は高機能化し、通信できるパケット量も大きく、速度も速くなりました。

そのため、携帯電話会社は、パケット定額サービスを設けています。どれだけ大量のデータをやり取りしても、毎月一定額の支払いのみとなります。しかし、この仕組みを知らず、パケット料金の定額の契約をしないで、ネットを利用して携帯電話のカメラの画像をやり取りしてしまうと、高額な通信費が発生します。平均的な中高生のパケット通信費は毎月約200万円ほどの利用です。この費用を定額の契約をすると約4400円程度（平成25年3月現在）となります。契約内容を確認せず、他人の携帯電話からインターネットに接続すると高額な料金が発生するなどのトラブルになってしまいます。

また、サイトで知り合った人に勧められたサイトにアクセスしたら、高額の利用料（パケット料以外）が発生したという例などは、悪意のある事業者が自社のサイトを紹介して、利用させているのです。

### 16．新たな被害を生む新種のウイルス感染

コンピュータウイルスは日々進化し、次々と新しいウイルスが送り込まれています。

最近のウイルスは、その存在を現すことがなく、密かに様々な情報をウイルス発信者に転送しています。密かにウイルス感染させることで、利用者に気づかれることのないまま情報を入手でき、転売することが可能になるのです。

パソコンには、ウイルスソフトを導入し、随時アップデートをして最新のウイルスに対

処出来る体制を整えておく必要があります。携帯電話の場合は、オールリセットで回復出来る場合がほとんどですが、電話帳などのデータが消えてしまうことがありますので、こまめにバックアップをとっておく必要があります。

## 17. 被害に陥る被害者の特徴と「生きる力」のはぐくみ方

様々な子どもたちのカウセリングに関わった経験から、幼児期の育て方、家庭環境が成人してからも影響を与え続け、ネット被害にも深い関わりがあるのではないかと感じています。幼い頃、親の愛情を受け、絵本を読んでもらったり、ぎゅっと抱きしめてもらったりしていた子どもたちは、悪意を隠したネットの向こう側の相手に誘惑されそうになっても、親の顔がチラつき自ら踏み込むことをやめることが多いようです。逆に、無関心に育てられたと感じている子どもたちは、立ち止まることなく被害に巻き込まれてしまう傾向にあるように思います。

子どもたちを危険な場面に踏み込ませないよう立ち止まらせるためには、家庭での過ごし方とともに、学校やPTA、子ども会など地域の関わり方も重要になってきます。

親身になってくれる大人の存在を知れば、子ども達は裏切ることなく被害を避けてくれると思います。「お母さんが悲しむ...」「先生が心配するから」「あのおじさんを裏切れない」「顔がチラつく」そんな大人の存在が、大きな抑止力になるのです。

様々な立場の大人が、互いに協力して子どもたちを見守っていくことが、子どもたちの被害の抑止につながっていくのではないかと思います。

## (参考)

### 相談事例1 (社会人)

ネット検索でアダルトサイトに入り込んでしまい、代金請求画面が消えない。

何かを調べようとして、検索すると、その検索した言葉とは無関係のサイトに転送されてしまうことがあります。意図的に悪意のある事業者が、設定しているのです。代金が画面に表示されるのは、勝手にプログラムをパソコンにインストールされてしまったからです。契約が成立していない代金を支払う必要はありません。相手先に連絡をすると、電話番号などの個人情報を相手先に伝えることとなります。、さらに新たな罠を仕掛けてくることもありますので、こちらからの連絡は控え、消費生活センターなどに相談するようにしましょう。

### 相談事例2 (小学生)

無料ゲームサイトで遊んでいたら、翌月携帯電話会社から高額な請求が来た。

無料ゲームサイトなど、無料サイトの中にはゲームで使うアイテムが有料となっている場合があります。ゲーム内で使用する通貨やポイントは実際のお金に置き換えて考える必要がありますが、ゲームにのめり込んでしまい10万円以上使った例も多くあります。代金は携帯電話会社の請求書に合算して請求されますが、料金が口座振替の場合、高額な請求に数ヶ月気づいていなかった例もありました。

すべてが無料ではないことを認識して利用する必要があります。

### 相談事例3 (高校生)

無料音楽サイトで音楽をダウンロードしていたら、ウイルスに感染してしまった。

著作権のある音楽をダウンロードすること自体が違法です。その違法なサイトにアクセスさせようとワナを仕組み、ウイルスをばらまこうとしているのです。そのウイルスからパソコン内部の個人情報が漏れてしまいます。無料サイトへのアクセスは、十分な注意が必要です。

#### 相談事例4 (小学生)

無料ゲームサイトで知り合った人から紹介されたサイトを利用したら、高額な請求が来た。

悪意のある事業者が、サイトで知り合った友だちを装いサイトに誘導します。この場合、正規の利用料金が発生している場合もありますから、無視せず、内容を確認して対処しましょう。

#### 相談事例5 (中学生)

プロフサイトで知り合った友だちと写真交換していたら、突然脅迫された。

相手は子どものふりをして近づいてきます。身体的な相談を装い、自分の裸の写真を送ってきます。相談に応じていると、やがて相手も裸の写真を要求して来ます。要求に応じて写真を送ると、本性を出し、脅迫しだすのです。サイトでのやり取りだけでは、相手が見えません。相手が送ってくる写真もネット上で入手した画像です。

#### 相談事例6 (高校生)

プロフサイトを見た人から、モデルにならないかとメールが来た。

プロフサイトでは、写真を入手しようと連絡を取ってくる業者がいます。複数の写真を入手し、転売しています。モデルと言えばいろいろな写真を送ってしまう女の子が多い為、裸の写真も入手しやすいのです。ネットに流出した画像は回収出来ないので、十分な注意が必要です。

#### 相談事例7 (70代男性)

俳句サイトで知り合った方とメールしたら、マルチビジネスに誘い出された。

俳句の添削など、高齢者の利用を目的としたサイトも増えてきました。操作に慣れてきた頃、楽しくメール交換をしていたら、こちらの情報が聞き出されていたという場合もあります。メールで話し込むうちに断り切れず、呼び出しに応じたり、商品を購入させられてしまったりと、あらゆる被害に巻き込まれます。

高齢者を狙った振り込め詐欺も、このメールのやり取りから家庭環境や子どもの

名前を知られてしまい、被害につながるものもあるようです。

### \* 終わりに

隠れたインターネットの現状を把握することは、今後の被害防止に必要不可欠です。その隠された仕組みは、驚異的な早さで変化し、進化しています。

「私たちの生活環境は地方、田舎だから…」と安心しているのはインターネットをあまり利用しない大人だけです。現実には、子ども達が被害者にも加害者にも簡単になってしまう仕組みが、この平和な暮らしの中にも存在しています。

児童虐待などの問題も一見、無関係に見えますが、インターネットや通信ゲーム、携帯電話の仕組みが影響し、子どもや親の感覚を変えていることが原因ではないか考えられるケースも見受けられます。

精神科では患者さんの傾向が昔と変わってきたと言われていています。現実とバーチャル(コンピュータ上の仮想空間)な体験とが区別できず、心のバランスが崩れてきた人が増えてきているようです。

いじめや虐待で追いつめられ、バーチャルな世界で見つけた楽しさに堕ちてしまい、戻れなくなった子どもや若者もいます。

DVD「子どもと学ぶネット社会」をご覧になり本書を読んでいただいている方々には、隠れたインターネットの現状を理解していただき、子どもたちとの関わり方を考えていただければと思います。

ひとりでも多くの方が現状を理解し、子どもたちの話を聞いてくださることが、今後の様々な被害の抑止につながっていくのではないかと感じています。



## \*用語解説

### 【Wi - Fi】ワイファイ

無線LAN（無線通信を利用してデータ通信を行うLANシステム）製品の普及促進を図る業界団体によって、無線LAN機器間で相互に接続できることが認められたことを示すブランド名のこと。パソコン以外に携帯電話やポータブル機、家庭用ゲーム機にも搭載され、日本だけでなく世界中と簡単につながるサービスが展開されています。

### 【ワイヤレススポット】

ワイヤレススポットとは、高速インターネット接続環境を不特定の人に提供する場所のことを指し、ワイヤレス機能搭載のパソコンや携帯電話、ゲーム機を持ち込めば、ブロードバンド（通信速度が高速なインターネット接続サービス）を使用し、インターネットに接続することができる。

### 【GPS】グローバル・ポジショニング・システム

地球上の現在位置を特定するための衛星測定システムのこと。

技術の発達により、現在では携帯電話内部のGPSチップで衛星から取得したデータを計算し、数メートル単位で精密な位置を地図画面上に表示できます。

GPSを利用したサービスの中には、安心サービスとして子どもや高齢者の位置を確認できるサービスもありますが、類似のサービスを悪用し、ネットで知りあった相手に言葉巧みに携帯電話を設定させ、位置情報を得るなどの被害事例もあります。

### 【携帯メール】

携帯電話のメール機能は、パソコンのメール機能（ウェブメール）と、メールの伝達方法に違いがあります。

ウェブメールの場合は、メールの送信者が契約しているプロバイダのアドレスを管理するサーバーに送信され、受信者がメールソフトを起動した時点でプロバイダからメールが

届けられるのですが、携帯メールの場合は、携帯電話の契約にメールなどの登録住所に近い交換機に契約情報が登録されます。この情報を元に位置情報などをセンターが照合し、メールが届けば一番近い基地局を割り出して、随時メールを携帯電話に届けます。

このメールソフトを起動しなくても“随時メール”が届くシステムが、より早く、利用者のポケットに広告を届けられるとして、事業者が携帯電話向けに広告メールを送るメリットとして利用されています。

### 【携帯アプリ】携帯電話用アプリケーションソフト

携帯電話で動作する各種ソフトウェア（プログラム）のこと。

携帯電話の進化より、携帯電話本体でソフトウェアを実行することが可能となり、ゲームソフトや地図ソフトなどを携帯電話内部で計算処理しています。携帯アプリには有料版と無料版があり、必要な内容を随時ネット経由でやり取りします。例えば地図ソフトでは、GPSと連携したナビゲーションアプリなどがあり、カーナビゲーションと同等の高機能な処理が可能となっています。

最近の機種では携帯電話購入時に、基本的なアプリがいくつか事前に組み込まれているため、パケット定額契約をせずに利用すると、大変高額な電話料金請求になる場合がありますので、契約内容を確認し利用する必要があります。

### 【おサイフケータイ】

携帯電話に埋め込まれた“F e I i C a（フェリカ）”を使用したサービスのこと。各携帯会社すべておサイフケータイの名称が使われているが、NTTドコモの登録商標。フェリカは、ソニーの開発した非接触ICカード技術方式で、電子マネーのような決済以外に、ポイントカードや会員証、乗車券、クレジットカード機能など次々とフェリカを利用したサービスが増えています。

携帯電話本体の電源ON/OFFに関わらず利用出来るため、電池切れなど心配する必要はありませんが、保障の面でクレジットカードと違い、携帯電話本体の変形などによるICカード内のデータ消失などの被害が発生した場合、サービス提供会社毎の対応となりますので注意が必要です。主に携帯電話内にお金をチャージして利用しますので、おき忘

れによる被害も発生しています。

### 【アドサーバー】

サイト閲覧者のブラウザに広告を配信するための専用サーバーのこと。

サイト運営者が自社で運営する形態と、複数のサイトと提携した広告専門事業者が A P S（アプリケーション・サービス・プロバイダ）方式で運営する形態があります。

アドサーバーは、ブラウザに記録されている利用者の情報や、広告ごとの必要露出回数などの詳細なデータを収集・管理して、ユーザーごとに最適な広告を配信したり、広告ごとの表示回数を制御する機能を備えています。また、広告の配信状況やその効果を把握する解析機能や、広告配信枠の在庫管理・需要予測機能、広告主へのリポーティング（業務レポートの作成）機能などを持つものもあります。

広告を掲載するサイトの種類のほか、ユーザーが使用しているブラウザや O S（オペレーティングシステム・基本ソフト）の種類、アクセスしている地域や時間などの情報をもとに、ターゲットを絞り込んで広告を配信することもでき、利用者が同じ広告ばかり目にしないようにするといった制御も可能です。

### 【裏サイト】【公式】サイト

携帯電話からでしかアクセス出来ない（パソコンからのアクセスは I P アドレス（ネットワーク上の機器を識別する番号）で判断され拒否される）ように仕組みされていたり、部外者が入れないようにパスワードを設定している、いわゆる非合法的な内容のサイト。

携帯電話の場合、「i モード公式サイト」などと言われ、各携帯電話会社から公認されたサイトを公式サイトと言い、それ以外のサイトを一般サイト、非公式サイトと予備、非合法的な内容の多いサイトが裏サイトと呼ばれています。

公式サイトを運営するメリットは多くの集客が見込めることと、課金代行システム（決済代行）によりコンテンツ（情報提供）会社に代わり、利用者から代金を電話料金と同じ請求で徴収してくれ、確実に代金回収が可能になります。

一般サイト、非公式サイトでは自由なサービスが展開できる反面、代金の回収が難しいため、広告収入に頼る運営者も多く見受けられ、悪意のある広告から裏サイトに迷い込む事例も多発しています。